項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

1.教育総務費

教育委員会の会議は、定例会を１２回、８７件について審議を行った。
時光早苗委員が令和７年９月３０日付けで任期満了を迎えたが、同年１０月１日で再任した。

１．教育委員会開催状況（令和７年４月～令和８年３月まで）
定例会　　１２回
審議件数　　８７件（承認１件、報告５３件、議案３３件）

２．教育委員会教育長及び委員

職　名	氏　名	任　期
教　育　長	土屋　仁志	令和6年 4月1日～令和9年3月31日（2期目）
委　　員 教育長職務代理者	時光　早苗	令和7年10月1日～令和11年9月30日（4期目）
委　　員	山下　郁子	令和4年10月1日～令和8年9月30日（1期目）
委　　員	原尾　英祐	令和5年10月1日～令和9年9月30日（2期目）
委　　員	太田小枝子	令和6年10月1日～令和10年9月30日（2期目）

３．学校運営協議会
町内全ての学校（認定こども園含む）に設置され、教育委員会が任命する委員をもって組織している。学校運営及び運営に必要な支援に関して協議する機関として、保護者及び地域住民等の学校運営の参画や、支援・協力を促進し、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や生徒、児童又は幼児の健全育成に取り組んだ。全委員を参集し、学校間の情報共有を行う全体・連携会議および各校における会議は次のとおり開催した。

開催日	参加委員（人）
11月27日	27

学　校　名	委員（人）	開催回数（回）
士幌小学校	10	2
中士幌小学校	6	3
上居辺小学校	6	3
士幌町中央中学校	10	5
士幌高等学校	6	2
認定こども園	8	1

４．教育研究所及び推進事業
教育研究所は、教育の改善充実に資するため、専門的事項の研究を行った。
小・中連携部会では、「幼・小・中・高連携」を推進するため、所員の他に協力員を配置し、町内各学校の授業交流、教職員の交流会等を実施した。
社会科副読本部会では、副読本「しほろ」のデジタル版の取り扱いについて協議し、本教材に準じたテストの見直し・修正も実施した。
ICT教育推進部会は、令和７年度に導入したタブレット端末の使用状況調査や学校向けのICT活用部会協力員の先生による研修を行い、ICTを活用しようとする気運を高めるための取り組みを行った。
【構成員】
所　長　舘　英樹（中士幌小学校）
副所長　山根由之（中士幌小学校）
所　員　湯藤浩二（士幌小学校）・佐竹良将（士幌小学校）、伊澤　亮（中士幌学校）、土屋英之（上居辺小学校）、加藤　心・仲野麗子（士幌町中央中学校）

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

５．学力向上の取り組み

全国学力・学習状況調査は、小学校第６学年の国語・算数・理科、中学校第３学年の国語・数学・理科を対象に町内全小・中学校が実施した。調査結果については、町内小中学校の全体的傾向とその概要、各学校で取り組むべき内容について各学校に情報提供した。

また、夏・冬の長期休業期間には、北海道大学の学生による小・中学生を対象とした「学習サポート塾」を実施した。

北海道教育委員会のほっかいどう学力向上推進事業「ほっかいどうチャレンジテスト」に取り組みについては、年間を通して効果的に活用され、基礎的・基本的な学習内容の定着を図った。

６．体力向上の取り組み

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校第５学年及び中学校第２学年を対象に、対象学年が在籍する町内全小・中学校が実施した。調査結果については、町内小・中学校の全体的傾向とその概要について、各学校に情報提供した。また、町内全校で対象学年以外の全学年において体力テストを実施して、児童生徒個々の成績や課題について分析し、その後の指導資料として活用した。

７．備品購入状況

購入年度が古いパソコンから順に更新するため、以下のとおり購入した。

区　分	内　容	事業費(円)
購入備品	町内小中学校用　校務用パソコン19台	3,274,612

８．各種検定受検費用助成

小・中学生が各種検定を受検する際、合否を問わず、年間３回を上限に受検料の全額を助成し、児童生徒の学習意欲の向上を図った。

（単位：人・円）

区分	英　検		漢　検		数　検	
	人数	受検料	人数	受検料	人数	受検料
小 学 校	1	6,900	55	99,000	29	80,900
中 学 校	21	81,300	60	131,225	15	60,300

９．特別支援教育

教育上、特別な支援を必要とする児童生徒のための特別支援学級設置数及び在籍児童生徒数の推移については、次のとおりである。

（５月１日現在）（単位：人・クラス）

区分	7年度		6年度		5年度		4年度	
	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数
小 学 校	38	14	40	14	42	16	44	15
中 学 校	14	5	19	5	23	6	28	7

１０．外国語教育

外国語助手は、自治体国際化協会の「語学指導を行う外国語青年招致事業（JET プログラム)」により１人配置、その他に町採用の会計年度任用職員として２人配置した。

各小学校・中央中学校・士幌高等学校・認定こども園・各保育所等・英会話サークル・児童ステーション・放課後子ども教室等に派遣し、外国語指導や国際交流活動を行い、外国語授業等の支援を図った。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

外国語指導助手	指導実績
ジャシーナドーン・エルヴィン・ハイアシンス（JET） 出身国：カナダ 令和4年8月16日 採用	各小学校　74回 中央中学校　69回 士幌高等学校　57回 英会話サークル　2回 その他　随時
ゲロン・グリッグス（町会計年度） 出身国：アメリカ合衆国 令和7年4月1日 採用	各小学校　43回 中央中学校　146回 士幌高等学校　14回 英会話サークル　3回 その他　随時
クラム・ブラッドレイ・マイケル（町会計年度） 出身国：オーストラリア 平成25年10月1日 採用	各小学校　77回 中央中学校　56回 士幌高等学校　49回 英会話サークル　4回 その他　随時

１１．食農体験学習

（株）ＣｈｅｅｒＳに事業を委託し、「大地くんと学ぼう」事業を士幌小学校の２年生、中士幌小学校と上居辺小学校は全学年、中央中学校１年生が実施をした。

実施日	研修名	学校・学年	人数(人)
12月 2日	パン作り	中士幌小1･2年	7
12月 4日	ピザ&スイートポテト	上居辺小1･2年	6
12月 10日	ピザづくり	士幌小2年	30
12月 16日	ピザ&かぼちゃ料理	上居辺小3･4年	7
12月 22日	カレーパン作り	中士幌小3･4年	9
1月 22日	ワッフルづくり	中士幌小5･6年	11
1月 30日	バウムクーヘン作り	上居辺小5･6年	5
3月 3日	肉じゃがづくり	中央中1年Aクラス	23
3月 6日	肉じゃがづくり	中央中1年Bクラス	23

１２．教員の働き方改革（校務支援システム）

校務や、児童生徒に係る情報をデジタル化し管理することで、事務負担が軽減され、職員の働き方改革に繋がった。更には、軽減されたことにより生じた時間を、児童生徒の見守り時間に充てるなど体制の充実が図られた。

導入経費は単年契約を締結し、年額２，５８１，９２０円。

１３．学校部活動の地域移行について

令和７年１２月２２日に、国の新たなガイドライン「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」及び、令和８年３月２６日に、「北海道部活動の地域展開に関する推進計画」がそれぞれ示され、改革実行期間として、前期３年間（令和８～１０年度）、後期３年間（令和１１～１３年度）と設定し、休日については、改革実行期間内に、原則として全ての部活動において地域展開を実現し、地域クラブ活動に転換することを目指すこととなった。

令和７年度は準備会議を３回開催。関係機関の協力を仰ぎながら地域展開の進め方などについて委員の共通認識を深め、指導者の募集に向けて協議を行った。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（1）取り組み経過

月　　日	取り組み内容
令和6年1月29日	士幌町学校部活動の地域移行に関する町民説明会
令和6年2月28日	第1回　士幌町学校部活動地域移行準備会議設置検討会議
令和6年5月16日	第2回　同会議
令和6年7月14日	第3回　同会議
令和7年2月17日	第1回　士幌町学校部活動地域移行準備会議
令和7年3月18日	第2回　士幌町学校部活動地域展開準備会議（名称変更）
令和7年12月 2日	第3回　同会議 十勝教育局による進め方と事例紹介 など
令和8年 1月27日	第4回　同会議 おんおーる 総合型地域スポーツクラブとの意見交換 など
令和8年 3月10日	第5回　同会議 指導者募集規定（案）について など

2．小学校費

小学校において、児童の学習環境の充実及び学校生活の安全性を確保するため、各種工事を実施した。

都市交流事業として実施している士幌町・美濃市児童交流事業（士幌小、中士幌小）を実施し、上居辺小学校の千葉県鎌ケ谷市との交流についても、訪問が実施された。

1．学校概要　（5月1日現在）

学校名	認可学級数				児童数			
	7年度	6年度	5年度	4年度	7年度	6年度	5年度	4年度
士幌小	18	17	18	18	209	208	224	236
中士幌小	7	7	7	7	28	31	32	32
上居辺小	5	5	6	6	18	21	19	19
計	30	29	31	31	255	260	275	287

2．教職員数　（5月1日現在）

学校名	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員	町職員
士幌小	23	2	1	1	9
中士幌小	9	1	0	1	0
上居辺小	7	2	0	1	0
計	39	5	1	3	9

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

3．教職員異動状況

学校名	転入・採用（R7.4.1付）			転出・退職（R8.3.31付）		
	職名	氏名	学校名等	職名	氏名	学校名
士幌小	教諭	菅原美恵子	緑陽台小	校長	川原　千暢	鹿追小
	教諭	廣岡　正樹	足寄小	教諭	櫻井　弓	清水小
	教諭	忠津　香織	駒場小	教諭	丸子隆一郎	まくべつ学園
	教諭	水野　悠莉	啓北小	栄教	小尾　恭代	清水小
				養教	竹田　千鶴	通明小
中士幌小	校長	舘　英樹	勇足小	教諭	経種　英介	鹿追小
	教頭	山根　由之	中央中	教諭	佐藤亜希子	柳町小
	教諭	川端　誠	鈴蘭小	教諭	豊田　絵里	音更小
	教諭	横井　理加	幕別小			
上居辺小				教頭	藤林　正博	白人小
				教諭	小野寺香織	鹿追小
				教諭	松村　深	柳町小

4．学校施設整備及び備品購入状況

区　分	内　容	事業費（円）
工　　事	高圧受変電設備改修工事（中士幌小学校） 学校施設体育館空調設備整備工事（士幌小学校・中士幌小学校・上居辺小学校）	979,000 142,219,000
購入備品	校内撮影用端末、職員室ブラインド、特別支援教室机　等	2,647,892

5．就学援助費支給状況

町内に居住する就学児童を有する保護者で、経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者を対象に学用品費などを援助する制度で、次のとおり支給し、支援を図った。

（　）前年度

区　　分	対象児童数（人）	支給金額（円）
学用品費	29（29）	327,578（　337,270）
通学用品費	25（25）	54,858（　56,750）
体育実技用具費	8（ 7）	166,320（　132,300）
新入学児童学用品費等（小１）	2（ 1）	114,120（　57,060）
新入学児童入学準備金（早期小１）	2（ 3）	114,120（　171,180）
修学旅行費	8（ 8）	262,000（　203,700）
校外活動費（宿泊無）	0（ 0）	0（　0）
校外活動費（宿泊有）	5（ 6）	14,750（　17,100）
クラブ活動費	0（ 0）	0（　0）
児童会費	0（ 0）	0（　0）
ＰＴＡ会費	22（29）	66,900（　88,800）
医療費	0（ 0）	0（　0）
卒業アルバム代	8（ 7）	124,000（　112,000）
計	実人員　29（29）	1,244,646（1,176,160）

※学校給食費については、就学援助費として支給せず、支払い免除扱いとしている。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

6．特別支援教育就学奨励費支給状況

町内各小学校の特別支援学級に在籍する児童の保護者に対する就学奨励費については、次のとおり支給し、支援を図った。

（　）前年度

区　　分	対象児童数（人）	支給金額（円）
通学費	0（ 0）	0（ 0）
修学旅行費	0（ 1）	0（ 10,790）
学用品等購入費	5（ 4）	29,100（ 23,280）
新入学児童学用品費等	1（ 1）	25,555（ 25,555）
体育実技用具費	3（ 2）	39,765（ 26,510）
校外活動費（宿泊有）	1（ 0）	2,950（ 0）
校外活動費（宿泊無）	0（ 0）	0（ 0）
拡大教材費	0（ 0）	0（ 0）
計	実人員　5（ 4）	97,370（ 86,135）

7．士幌小学校言語通級指導教室通所児童数

区分	7年度	6年度	5年度	4年度
実人数	0	0	2	2

8．主要５教科補助教材費公費負担

子育て支援対策として、保護者の経済的負担を軽減する目的で、主要５教科の補助教材費を公費とした。

学　校　名	金　額（円）
士　幌　小	1,520,130
中 士 幌 小	207,330
上 居 辺 小	152,350
計	1,879,810

３．中 学 校 費

1．全国・全道大会等の出場及び成績

大　会　名	参加人数	主な結果（入賞）
第56回北海道中学校陸上競技大会	女子1人	女子砲丸投げ 3年　河村　京葉　第3位
第56回北海道中学校スケート大会	男子4人 女子4人	3年　河村　京葉 女子　1,000m　第3位 女子　1,500m　第2位 3年　野口　夏帆 女子　500m　第9位 3年　小野寺　仁菜 女子　1,500m　第9位 女子　3,000m　第3位 2年　鈴木　凱大 男子　500m　第2位 男子　1,000m　第1位 2年　大野　隆晴 男子　3,000m　第6位 男子　5,000m　第7位 2年　飯島　昂生 男子　500m　第7位

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

第46回全国中学校スケート大会	男子3人 女子3人	3年　河村　京葉 女子　1,000m　第4位 女子　1,500m　第4位 3年　小野寺　仁菜 女子　1,500m　第7位 女子　3,000m　第4位 2年　鈴木　凱大 男子　　500m　第2位 男子　1,000m　第8位
第57回北海道中学生アルペンスキー大会	女子1人	2年　井澤　藍里 回転　第46位 大回転　第44位

2．学校概要　（5月1日現在）

学校名	認可学級数				生徒数			
	7年度	6年度	5年度	4年度	7年度	6年度	5年度	4年度
士幌町中央中	11	11	12	13	143	151	163	170

3．教職員数　（5月1日現在）

学校名	教諭	養護教諭	事務職員	町職員
士幌町中央中	20	1	1	7

4．教職員の異動状況

学校名	転入・採用（R7.4.1付）			転出・退職（R8.3.31付）		
	職名	氏名	学校名	職名	氏名	学校名
士幌町中央中	教諭	遠藤　司	上美生中	校長	白井　将之	浦幌中
	教諭	小田嶋史稀	芽室中	教頭	齊藤　雅哉	芽室小
	教諭	大久保拓弥	大樹中	教諭	白石　祐輔	札内中
	教諭	松井　眞治	柳町小	再教	遠藤　司	退職
	教諭	安岡　智広	旭川中			
	教諭	中橋　優斗	新採用			

5．卒業生進路別内訳

区　　分	7年度	6年度	5年度	4年度
管内公立高等学校	39	40	34	42
管内私立高等学校	6	9	9	11
管内高等養護学校	1	0	3	1
管外公立高等学校	1	1	3	2
管外私立高等学校	2	2	1	2
管外高等専門学校	0	0	1	1
私立通信制高等学校	4	1	5	2
就　　職	0	0	0	0
計	53	53	56	61

6．学校施設整備及び備品購入状況

区　分	内　容	事業費（円）
工事	高圧受変電設備改修工事（士幌町中央中学校） 学校施設体育館空調設備整備工事（士幌町中央中学校）	8,569,000 59,521,000
購入備品	校内撮影用端末、図書用プリンター、音楽室用モニター・スタンド　等	1,921,410

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

7．就学援助費支給状況

町内に居住する就学生徒を有する保護者で、経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者を対象に学用品費などを援助する制度で、次のとおり支給し、支援を図った。

（　）前年度

区　　分	対象生徒数(人)	支給金額(円)
学用品費	21（23）	441,340（ 519,001）
通学用品費	12（15）	25,348（ 34,050）
体育実技用具費	0（ 0）	0（ 0）
新入学生徒学用品費等	1（ 1）	15,750（ 31,500）
新入学生徒入学準備金（早期）	8（ 8）	504,000（ 504,000）
修学旅行費	2（11）	147,200（ 820,600）
校外活動費（宿泊無）	0（ 8）	0（ 3,200）
校外活動費（宿泊有）	9（ 4）	13,500（ 3,600）
クラブ活動費	17（18）	393,050（ 384,000）
生徒会費	21（23）	8,400（ 11,500）
ＰＴＡ会費	19（20）	57,000（ 60,000）
医療費	0（ 0）	0（ 0）
卒業アルバム代	3（11）	46,200（ 169,400）
計	実人員 21（23）	1,651,788（2,540,851）

※学校給食費については、就学援助費として支給せず、支払い免除扱いとしている。

8．特別支援教育就学奨励費支給状況

特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対する就学奨励費については、次のとおり支給し、支援を図った。

（　）前年度

区　　分	対象生徒数(人)	支給金額(円)
通学費	0（ 0）	0（ 0）
修学旅行費	1（ 0）	28,860（ 0）
校外活動費（宿泊有）	0（ 0）	0（ 0）
校外活動費（宿泊無）	0（ 1）	0（ 400）
学用品等購入費	2（ 3）	22,740（ 34,110）
新入学生徒学用品費等	1（ 1）	30,490（ 30,490）
体育実技用具費	0（ 0）	0（ 0）
拡大教材費	0（ 0）	0（ 0）
卒業アルバム代	0（ 0）	0（ 0）
計	実人員 2（ 3）	82,090（ 65,000）

9．主要５教科補助教材費公費負担

子育て支援対策として、保護者の経済的負担を軽減する目的で、主要５教科の補助教材費を公費とした。

学　校　名	金　額（円）
士幌町中央中	999,860

4．スクールバス管理費

1．スクールバス運行状況

（1）路線別の児童、生徒バス通学者人員等　　（　）前年度

路線名	小学生	中学生	高校生	計	運行日数
上居辺	8	10	1	19	208
朝　陽	10	6	0	16	〃
佐　倉	13	11	2	26	〃

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

下居辺	5	3	1	9	〃
新　田	10	5	0	15	〃
西　上	8	3	0	11	〃
中士幌	1	17	24	42	〃
中音更	9	4	0	13	〃
計	64(62)	59(65)	28(31)	151(158)	

（2）スクールバス住民利用状況　　（　）前年度

路線名	利用者数	1日当たり利用者数	運行日数
上居辺	4	0.1	242(241)
朝　陽	2	0.1	
佐　倉	50	0.3	
下居辺	421	1.8	
新　田	153	0.7	
西　上	169	0.7	
中音更	174	0.8	
計	973(826)	4.1(3.5)	
中士幌地区通院患者送迎	96(141)	0.7(1.0)	152(149)

（3）特別運行状況　　（　）前年度

申　請　者	運行日数	運行台数	行　先	行　事　内　容
小　学　校	88	105	町内外	施設見学、集合学習他
中　学　校	62	101	〃	スポーツ大会、遠足他
高　等　学　校	52	53	〃	スポーツ大会、実績発表他
こども園・その他各種団体	26	28	〃	研修視察、ボランティア活動、プール送迎他
計	228(229)	287(309)		

（4）スクールバス運行委託業務　　（　）前年度

路線名	運行日数	委託料(円)
上居辺	242(241)	6,853,000
朝　陽	242(241)	7,238,000
佐　倉	242(241)	7,051,000
下居辺	242(241)	7,436,000
新　田	242(241)	6,402,000
西　上	242(241)	6,512,000
中士幌	208(203)	6,006,000
中音更	242(241)	6,534,000
計		54,032,000

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（５）クラブ活動運行委託業務

路　線		運行回数	単価(円)	委託料(円)
新田～西上	25km 以上	36[3]	9,295	1,219,504
	25km 未満	119[11]	7,436	
上居辺～下居辺	25km 以上	75[4]	8,987	1,256,415
	25km 未満	81[7]	7,190	
中士幌～佐倉	25km 以上	70	8,107	1,222,576
	25km 未満	101	6,486	
計				3,698,495

※[　]内は、下記（７）のスクールバス運行委託料内で行った予備車運行日数

（６）特別運行委託業務

運　行　区　分		運行回数	単価(円)	委託料(円)
休日運行	25km 以上	61 [2]	21,263	1,365,087
	25km 未満	4	17,011	
平日運行	25km 以上	114[28]	13,607	2,618,026
	25km 未満	98[22]	10,886	
計				3,983,113

※[　]内は、下記(７)のスクールバス運行委託料内で行った予備車運行日数

（７）車両運行管理委託業務

スクールバスの安全運行に際し、総括管理及び事務処理並びに町有バスの運行業務を４，７５２，０００円で行った。

５．高等学校費

農業及び農業関連産業の担い手育成を目指し、地域の信頼に応える教育を実践した。

令和７年度入学生は、前年度比１２人減の３９人（アグリビジネス科１７人・フードシステム科２２人）となった。令和８年度入学者選抜試験出願者は３９人となった。

生徒の夢や想い、目標を学校全体で応援しブランドとして認証する「志プロジェクト」は１２年目を迎え、ラジオやＳＮＳを活用し外部への発信に力を入れている。

農業クラブ活動では、全道技術競技大会で西潟孝司さんが分野食品、大沢杏莉さんが乳牛の部で最優秀賞を受賞した。

専攻班活動では、日本学校農業クラブ北海道連盟第７７回全道実績発表大会で環境専攻班が優秀賞を受賞した。

外部団体認証を取得している「グローバルＧ．Ａ．Ｐ.」「北海道ＨＡＣＣＰ」「有機ＪＡＳ認証」「アニマルウェルフェア畜産認証」について、継続取得に取り組んだ。

３月１日には、学科転換から数えて第２２回目の卒業式が執り行われ３６人（アグリビジネス科１１人・フードシステム科２５人）が学び舎を後にした。町内をはじめとした各種企業への就職や、４年制大学等への進学など全ての生徒が進路決定をすることができた。

生徒や保護者への支援事業としては、本校独自の修学支援制度の利用を促進した。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

１．学校の概要

科　別	学級数	生　徒　数（人）			教員（人）	技術職（人）	事務職（人）
		R7.5.1	R6.5.1	増　減			
アグリビジネス科	3	44	51	△7	26	7	5
フードシステム科	3	72	69	3			
合　　計	6	116	120	△4			

２．職員の異動状況

採用・退職・異動	年　月　日	職　名	氏　　名	所　属　名
採　　用	7.4.1	教　　諭	金子　　晴樹	釧路明輝高校から
〃	〃	〃	中村　　和徳	稚内高校から
〃	〃	〃	金子　　友楽	新規
〃	〃	〃	野呂　栄梨佳	新規
〃	〃	実習助手	松田　　莉夢	新規
人事異動	〃	事 務 長	杉山　みちる	役場町民課から
〃	〃	専 門 官	木下　　雅子	
〃	7.8.1	主　　事	花本　　隼晟	役場町民課から
〃	〃	専 門 官	木下　　雅子	産業振興課へ
退　　職	8.3.31	校　　長	齋藤　　譲一	別海高校へ
〃	〃	教　　頭	中野　　泰弘	音更高校へ
〃	〃	教　　諭	山下　　秦矢	上士幌高校へ
〃	〃	教　　諭	小林　　嶺	美深高校へ
〃	〃	教　　諭	松村　　祐弥	千歳高校へ
〃	〃	教　　諭	野呂　栄梨佳	更別農業高校へ
〃	〃	教　　諭	松村　　友楽	岩見沢農業高校へ
〃	〃	実習助手	今村　　幸喜	

３．今年度の特筆すべき事項

（１）各種大会への出場

月　日	大会名	受賞及び主な出場者等(結果)	場所
6月5～6日	第73回東北海道学校農業ｸﾗﾌﾞ連盟実績発表大会	分野Ⅰ類　森下　音羽 分野Ⅱ類　酒井　悠名（優秀賞） 分野Ⅲ類　西潟　孝司（最優秀賞） ｸﾗﾌﾞ活動発表　中西　はな（優秀賞）	更別村
7月1日	第55回東北海道学校農業クラブ連盟意見発表大会	分野Ⅰ類　菅原　　昴（優秀賞）	中標津町
8月8日	日本学校農業クラブ北海道連盟 全道技術競技大会	分野作物　森下　音羽　（優秀賞） 分野畜産　酒井　悠名　（優秀賞） 分野食品　西潟　孝司（最優秀賞） 分野食品　佐々木紗和　（優秀賞） 分野食品　山岸　美月　（優秀賞） 分野乳牛　大沢　杏莉（最優秀賞） 平板測量　田中　零音　（優秀賞）	岩見沢市 江別市

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

		平板測量　光澤　蒼惺　（優秀賞） 平板測量　田中　蓮音　（優秀賞）	
8月21～22日	日本学校農業ｸﾗﾌﾞ北海道連盟第77回全道実績発表大会	分野Ⅱ類　環境専攻班　（優秀賞） 分野Ⅲ類　地域資源専攻班 ｸﾗﾌﾞ活動　農業ｸﾗﾌﾞ執行部	遠別町
8月28日	日本学校農業ｸﾗﾌﾞ北海道連盟第45回全道意見発表大会	分野Ⅰ類　菅原　　昴 分野Ⅲ類　西潟　孝司　（優秀賞）	留寿都村
9月17日	日本土壌肥料学会2025年度福岡大会	畑作専攻班 石上　心温、奥　祐太郎 駒井　花恋、菅原　　昴	新潟県
10月22～23日	第76回日本学校農業ｸﾗﾌﾞ全国大会農業鑑定競技会	分野作物　森下　音羽 分野食品　西潟　孝司	山梨県
11月29日	第11回全国ﾕｰｽ環境活動発表大会北海道地方大会	地域資源専攻班　（優秀賞）	札幌市
3月18日	日本森林学会第13回高校生ﾎﾟｽﾀｰ発表大会	環境専攻班 西　風李、光澤　蒼惺、田中　蓮音	つくば市

（２）海外文化交流事業（米国）

海外の高校生との交流やホームステイ等の経験を通して、地域産業人として視野を広め、国際化時代に対応できる資質を養うことを目的として次のとおり実施した。

① 受入事業

実施なし

② 米国派遣事業

期　間　９月１７日～９月２６日　研修期間　１０日
対　象　第２学年選抜により生徒　７人
引　率　川口　雅史　クラム・ブラッド・マイケル
研修地　米国コロラド州デンバー市他

（３）自治体国際協力促進事業「キルギスと士幌町におけるフードバリューチェーンの実践学習を通じた国際交流協働事業」

平成３１年度自治体国際協力推進事業「シーベリー栽培・加工技術を通じた地域交流」を契機にスタートし、協力先であるキルギス農業技術カレッジと協働活動を続けてきた。カレッジでは教育環境のさらなる充実を目指しており、今後も士幌高等学校との連携を継続しながら、実践的かつ深化した学びを生徒及び教員双方が身につけられる体制を構築していく方針であり、今年度はキルギスより学生２名、教員２名計４名を受入し、農家の現場視察や士幌高校の教育施設見学の他、士幌町を含む北海道内特産品販売関連施設・工場視察などを実施、また、本校からは生徒２名、教員２名計４名が渡航し、カレッジでの学習の様子や農業現場及び食品製造現場視察、キルギスの歴史および自然環境への理解、農業教育の現場や卒業生の企業事例について説明を受け、地域産業へ繋がる実例を確認した。

教員・生徒双方にとって貴重な場であり、教室内の学習では得がたい実践的な視点を育む重要な機会となった。

（４）各種イベント等への出品及び参加

学校販売会、学校祭及び町内外で開催されているイベント等に参加し、農産物、園芸品及び農畜産加工製品の販売等でＰＲ活動を積極的に行った。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

○生徒が参加した主なイベントや大会等

NO.	イベント名
1	＃もくフェスとかち 2025
2	花コミュニケーションとかち 2025
3	しほろ 7000 人のまつり
4	さんフェア 2025「農業高校食彩フェア」
5	北海道農業高校食彩フェア in TOKYO（全国農業高校収穫祭）
6	2025 オーガニックヴィレッジ大収穫祭
7	よつばミルクフェスタ 2025
8	しほろ牛肉祭り
9	しほろ収穫祭
10	地域ふれあい広場 2025
11	しほろ女性まつり
12	JICA 帯広 国際フェスタ in とかち 2026
13	BEING ALIVE EXPO！T HOKKAIDO 高校生ｾｯｼｮﾝ
14	乳牛ジャッジングコンテスト

４．産業現場実習（インターンシップ）

日頃の学習活動の成果を現場実習の場で確かめ、体験学習を通して実践力を身につけ、農業人、社会人として生きる心構えと態度を養うことを目的として本町他３市町の農家並びに企業の協力を得て、２年生の生徒が６月２５日から２７日まで実習を行った。

（１）産業現場実習市町村別受入数　　（単位：人）

市町村	アグリビジネス科	フードシステム科	合計
士幌町	6	4	10
帯広市	4	10	14
音更町	6	9	15
鹿追町	0	2	2
計	16	25	41

５．資格取得状況

資格名	取得者数（件数）	助成金額（円）
日本語ワープロ検定	27	53,700
情報処理技能検定（表計算）	35	72,900
プレゼンテーション作成検定	23	51,700
実用英語技能検定	2	11,100
食物調理技術検定	10	9,600
日本漢字能力検定	8	20,000
農業技術検定	25	40,290
合　計	130	259,290

※合格者のみに助成。士幌高等学校振興会の事業で実施

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

６．修学資金貸付事業

優秀な生徒の確保と、目標を持った学校生活を送り地域産業に寄与できる人材を育成することを目的として、高校を卒業後、大学に修学することが確実な生徒の保護者に修学資金を貸し付ける事業で、今年度は４年制大学に進学した１人の希望者に貸付を行った。

年　度	人数	金額（円）
７年度	1	920,000
６年度	1	420,000
５年度	4	2,680,000
４年度	2	840,000
３年度	3	1,260,000
平成22～令和２年度	20	13,900,000
合　計	31	20,020,000

７．主な学校施設等整備事業

区　分	内　容	金額（円）
修　繕	牛舎バキュームポンプブロワー修繕	1,386,000
	MF3080 噴射ポンプ修理	595,760
	食品加工施設床下蒸気配管等３ヶ所漏洩修繕	497,200
工　事	屋根改修工事	1,760,000
	食品加工施設空調設備更新工事	4,653,000
備　品	コンピューター教室機器	11,423,060
	ICT 機器	15,400,000
	農場用トレーラ	902,550
	食品加工施設業務用冷凍庫	377,300
	計	36,994,870

８．町助成事業

助成事業名	金額（円）
士幌高校通学バス等自主運行保護者会助成	44,046,987
士幌高等学校振興会事業	800,000
士幌高等学校活性化対策事業(農業クラブ等)	600,000
士幌高等学校創立 75 周年記念事業実行委員会助成	1,000,000
合　　計	46,446,987

９．農場実習生産等状況

（１）畑作部門（生産圃場）　　（　）前年度

作物名	面積（ha）	収穫量（kg）	販売金額（円）
馬鈴薯(3 品種)	0.27	4,616.40	425,956
豆類(2 品種)	0.54	1,160.00	455,517
採草地（放牧地）	2.70	－	－
緑肥	0.81	－	－
計	(4.32)	(6,007.60)	(746,611)
	4.32	5,776.40	881,473

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（2）園芸部門　　（　）前年度

品　名	販売量（袋・本・鉢）	販売金（円）	備　　考
野　　菜	1,422	394,509	ﾆﾝﾆｸ・ﾆﾝｼﾞﾝ・ﾀﾏﾈｷﾞ・ﾄﾏﾄ他
鉢花・切花	809	209,058	ｱﾙｽﾄﾛﾒﾘｱ・ﾍﾟﾁｭﾆｱ・ﾌﾟﾘﾑﾗ他
花・野菜苗	3,736	380,600	ﾏﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｻﾙﾋﾞｱ・ﾄﾏﾄ・ﾋﾟｰﾏﾝ他
計	(8,124) 5,967	(1,383,508) 984,167	

（3）畜産部門　　（　）前年度

品　名	販売金（円）	備　　考
乳　　代	4,677,180	年間生産乳量　49,406kg 内　訳〈販売用〉　46,849.9kg 〈加工用〉　2,556.1kg
個体販売	673,277	乳用牛販売
計	(7,021,793) 5,350,457	

（4）食品加工部門　　（　）前年度

品　名	販売金（円）	備　　考
乳　製　品	2,664,493	アイスクリーム・ヨーグルト他
肉　製　品	683,629	ベーコン・フランクフルト他
農産加工品	790,420	どら焼き・レトルト食品他
計	(3,727,689) 4,138,542	

乳製品販売金額には、ふるさと納税の返礼品用として販売したアイスクリーム（１３，３０２個、２，１４６，８００円）、どら焼き（１６０個、２８，８００円）を含む。

総合計（畑作、園芸、畜産、食品加工）　１１，３５４，６３９円
（前年度　１２，８７９，６０１円）

６．社会教育費

社会教育の推進については、「第６期町づくり総合計画」（平成２８年度～令和７年度）を基調とし「士幌町社会教育中期計画」（令和４年度～令和８年度）に基づいて、地域の連帯意識を高め、活力とうるおいに満ちた自立した地域を創ることを目標に社会教育を推進した。

１．社会教育委員

社会教育の推進のため、必要な研究調査を行い、諸計画を立案するとともに、社会教育関係団体などに対し指導助言を与えることを目的として、学校教育関係者・社会教育関係者・学識経験者に委嘱し、委嘱期間は、令和６年７月１日から令和８年６月３０日までである。

委員人数	会議開催回数	出席者数（延べ人数）
9	3	15

２．文化賞等表彰

町の文化の向上発展に関し特に事績の顕著な者又は団体に、文化賞等を贈って表彰し、町の文化の普及振興を図った。なお、表彰式については、３月１５日に開催した第１８回「みんなで教育を考える集い」で行った。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（1）ジュニア文化奨励賞
三原　颯夏　（士幌小学校４年）　太田　拓　（中士幌小学校６年）
長屋　結葉　（士幌小学校６年）
小川　陽翔　（士幌町中央中学校１年）
永井　愛菜　（士幌町中央中学校１年）
西潟　香花　（士幌町中央中学校１年）
石田　健真　（士幌町中央中学校３年）
野口　夏帆　（士幌町中央中学校３年）

（2）文化賞
大沢　杏莉　（士幌高等学校１年）
西潟　孝司　（士幌高等学校３年）

（3）文化奨励賞
菅原　昴　（士幌高等学校２年）
山岸　美月　（士幌高等学校２年）
酒井　悠名　（士幌高等学校３年）
佐々木　紗和　（士幌高等学校３年）
森下　音羽　（士幌高等学校３年）
北海道士幌高等学校環境専攻班
北海道士幌高等学校クラブ活動発表
北海道士幌高等学校地域資源専攻班

３．女性学級
女性組織の育成助長に努めるため、通年の女性ライフスクール１か所と地域単位の女性学級を１か所開設した。

区　分	学級人数	開催回数	出席者数 (延べ人数)
女性ライフスクール	17 人	8 回	101 人
佐倉地区女性学級	令和３年度より活動休止		
中士幌地区女性学級		2 回	34 人

４．柏樹学級の開設
令和元年度より単年度募集の学級制へと変更し、高齢者の社会参画と、生きがいづくりなどを目的として開設した。

学級人数	開設回数	学習内容
104	12	環境整備・クラブ活動・芸術鑑賞 他町村高齢者学級との交流・研修旅行 等

５．生涯学習の推進事項
生涯学習ガイドブックを発行し生涯学習情報の提供を図るとともに、町職員が講師となり町民の学習活動を支援する「ふれ愛ユートピア出前講座」、町の課題や関心事をテーマにした学習として「生涯学習講座」を開催した。
また、町民の知識や技術、技能等が町民の学習活動の場で活かされるよう生涯学習支援バンク制度の活用を図った。

（1）生涯学習事業推進

講　座　名	期　間	実施回数	受講者数 (延べ人数)
ふれ愛ユートピア出前講座	4 月 1 日～3 月 31 日	127	2,723
生涯学習講座	3 月 15 日	1	200

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（2）生涯学習支援バンク登録者数及び利用状況

登　録　者　数	利　用　状　況(事務局報告分)
7団体7個人	3個人2団体47回

6．公民館

（1）公民館運営審議会

公民館における、各種事業の企画実施について調査審議することを目的として、学識経験者と各公民館活動推進委員長に委嘱し、委嘱期間は令和６年５月１日から令和８年４月３０日までである。

委員人数	会議開催回数	出席者数（延べ人数）
15	1	7

（2）活動交付金

１３地区公民館に、住民同士のふれあい・連携を深め、地域づくりを図るために活動交付金を交付した。

地区公民館活動交付金　　１，２００，０００円

（3）中士幌公民館太陽光発電施設（２０ｋW）発電実績

	総発電量(kWh)	内売電量(kWh)	売電額（円）
令和７年度	22,128	19,870	839,979
令和６年度	23,219	21,593	913,463
令和５年度	26,624	22,203	940,207

7．士幌町文化祭（１１月１日～３日開催）

日頃の芸術文化活動の成果を発表するとともに、町民が作品を鑑賞することにより、芸術文化への理解と関心を高めるために文化協会・教育振興会と共催で文化祭を開催し来場者数は７００人であった。

作品展示

区　　分	出展者数	出展点数	種　　類
幼　　児	119	119	絵画･写真･書道･手芸･石工･他
教育振興会	185	185	
高 校 生	53	53	
一般個人	9	154	
一般団体	11	331	
計	377	842	

8．士幌町はたちの集い

民法改正により令和４年４月から成年年齢が２０歳から１８歳に引き下げられたが本町においては、これまでどおり２０歳になる方を対象として開催した。式典は交歓会の内容を組み込んで開催し、士幌高等学校生手作りのどら焼き及びピア２１しほろ特産品セットを配布した。

開催日　令和８年１月１１日

対象者　平成１７年４月２日～平成１８年４月１日生まれ

町内在住対象者数	町内在住出席者	町外出席者	出 席 者 数
63	39	19	58

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

９．伝統文化事業

事　業　名	開催日	参加人数	共催・協力団体
新春書初大会 （ロビーに展示）	1月7日～19日	30	文化協会
下の句かるた大会	2月22日	31	実行委員会

１０．成人教育の推進等

成人の学習機会の拡充や文化活動に接することを目的に次の事業を実施した。

事　業　名	実施回数	参加人数等	内　　容
成人講座	1	7	江戸型彫り・染め体験
総合研修センター ロビー展	3	3団体	書道･作品　他

１１．第１８回みんなで教育を考える集い

子どもたちが郷土を愛する心を持ち、かけがえのない自他の生命を尊重する心の育成と他人を思いやりいじめを許さない社会の実現を目指す強い意志と確かな学力を備えることを目的に開催した。

内容	開催日	出席者数
・文化･スポーツ賞表彰 ・講演会 演題　「子どもの心をのぞいてみれば」 講師　香山　リカ　氏 （むかわ町国民健康保険穂別診療所副所長）	3月15日	200

１２．各公民館利用状況

（１）利用状況

No.	公民館名	利用日数	利用回数	利用人数
1	中　士　幌	148	193	2,323
2	佐　　倉	78	90	925
3	上　居　辺	90	90	1,652
4	下　居　辺	81	104	1,211
5	中　音　更	48	48	676
6	新　　田	14	14	139
7	西　　上	41	47	625
8	士　幌　南	24	24	442
9	士　幌　北	54	59	759
10	市　街　南　町	26	26	396
11	市　街　中　町	106	107	940
12	市　街　北　町	62	62	695
13	市　街　西　町	20	20	221
	計	792	884	11,004

１３．美濃の家・伝統農業保存伝承館

（１）開館期間　５月１日～１０月３１日　１５９日

（２）見学者数　１６５人

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

１４．総合研修センター利用状況等

（１）利用状況

令和５年度より指定管理制度を導入し株式会社オカモトによる指定管理運営を開始した。

部屋名	利用回数	利用人数
ふれあいホール	202	8,657
会　議　室	176	1,710
クッキングルーム	43	335
和　　室	93	851
音　楽　室	89	727
視 聴 覚 室	112	1,721
パ ソ コ ン 室	37	126
陶　芸　室	230	1,167
石　工　室	87	155
トレーニング室	204	6,112
ふるさと資料館	55	217
計	1,328	21,778

開館日数：３０７日

（２）施設・設備整備状況

事業名	事業費（円）
士幌町総合研修ｾﾝﾀｰ暖房用循環ﾎﾟﾝﾌﾟ修繕	363,000
士幌町総合研修ｾﾝﾀｰふれあいﾎｰﾙ吊物制御盤修繕	4,950,000
士幌町総合研修ｾﾝﾀｰｵｲﾙ地下ﾀﾝｸ液面指示計修繕	451,000
士幌町総合研修ｾﾝﾀｰ天井修繕	330,000
士幌町総合研修ｾﾝﾀｰ移動観覧席部品交換業務	1,608,200

１５．図書館

（１）したしみ図書館蔵書及び貸出状況

令和５年度より指定管理制度を導入し株式会社オカモトによる指定管理運営を開始した。

内　　訳	蔵書数	左の内・年度内			貸出冊数
		購入分	寄贈分	除　籍	
児 童 図 書	30,770	462	38	424	9,007
一 般 図 書	50,554	703	134	790	9,501
雑　　誌	1,805	427	31	625	1,353
視 聴 覚 資 料	1,255	8	2	291	205
計	84,384	1,600	205	2,130	20,066

開館日数：３０１日　入館者数：８，９９４人　貸出延べ人数：５，０３６人

（２）図書館行事

図書の貸出のほか、季節に応じた図書のテーマ展示などを実施するとともに、町民にとって身近で親しまれる図書館づくりをめざして次の行事を実施し、利用促進を図った。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

行　事　名	実施日数	参加人数 (延べ人数)
母の日	2	40
父の日	2	22
海の日	1	42
七夕短冊作成・展示	45	46
夏休み図書館スタンプラリー	27	70
ハロウィン	1	30
リサイクル市	15	126
クリスマス飾り作成・展示	49	46
クリスマス抽選会	39	214
クリスマス	1	30
新年抽選会	15	175
柱面装飾（年４回以上実施）	157	197

（３）ブックスタート事業

子どもとその家族が、絵本を通して体を寄り添わせてお互いの声を聞きながら、温かいふれあいの時間を過ごしてもらうことを目的として、乳児健診（１０か月児）の際に、「だるまさんが」及び「ね、ぼくのともだちになって」の絵本等を配付し、児童書の重要性を啓蒙した。

また、幼児健診（１歳６か月児、２歳児）において、絵本に触れる機会の拡充のために読み聞かせや、未配布者への絵本の配布等を行った。

実施回数	配布者数
6（8）	30（30）

（４）子どもの読書活動推進事業

子どもが自主的に読書活動を行う環境をつくるために、読書に親しむ機会の提供と充実、読書環境の整備、読書活動に関する理解と関心の普及を図る「子どもの読書活動推進計画」（第３期）に基づき、巡回図書やよみきかせ等の活動を行った。

１６．芸術・文化公演

身近な施設で本物の舞台芸術を観賞し、文化振興を図ることを目的に開催した。

内　　容	開催日	参加人数	対　象
わくわくパーカッションサークル	11 月 19 日	300	小学生・町民
楽しく学ぶ歌舞伎鑑賞教室	9 月 12 日	200	中学生・町民

１７．サタデースクール

学校完全週５日制に伴い始まった「サタデースクール」は、土曜日における町内の児童・生徒の健全育成が重要な課題となっており、自然とのふれあいに関することや集団生活体験に関することなど、創意工夫をしながら事業を実施した。

委託先：社会福祉法人 温真会

委託期間	事業 回数	参加人数 (延べ)	委託金額(円)	事業内容
4 月 1 日～ 3 月 31 日	28	1,575	4,204,444	科学体験・ものづくり体験・環境・芸術文化振興　他

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

１８．学習サポート事業

町内の児童生徒が学習や読書、運動など幅広い活動を行い、規則正しい生活習慣のなかで長期休業中を有意義に過ごすことを目的に、北海道大学恵迪寮自治会士幌小屋チセフレップ運営特別委員会と協力して事業を開催した。

開催期間	参加人数（延べ）	開催場所
8月4日～5日	46	総合研修センター
12月25日～26日	92	総合研修センター
3月25日～26日	65	総合研修センター

１９．放課後子ども教室

放課後等に学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動を行うことで、すべての子どもに安心・安全な居場所を提供することを目的に実施した。また、放課後児童クラブと一体的に活動することで放課後児童クラブに在籍する児童も参加することができた。

委託先：社会福祉法人 温真会

委託期間	事業日数	参加人数（延べ）	委託金額(円)	事業内容
4月1日～3月31日	242日	5,659	5,812,861	キッズイングリッシュ、キッズアート、工作教室、スポーツ体験、読み聞かせ会　他

２０．社会教育関係団体助成事業

（1）士幌町青年会　　助成金額：２５２，０００円

団員３９人で活動し、スポーツ大会やスポーツフェスなどの主催事業や町内事業への協力などを行った。

（2）士幌町女性団体連絡協議会　　助成金額：２９８，０００円

３団体３８８人で活動し、町内事業への協力、研修会などを開催した。

所　属　団　体　名		
士幌町商工会女性部	中士幌ひまわり婦人会	ＪＡ士幌町女性部

（3）士幌町文化協会　　助成金額：１８８，０００円

１１団体８５人で活動し、発表会などを行った。

所　属　団　体　名		
士幌吟友会	大正琴士幌蘭	ひまわり会
藤悦津会	聖月流剣詩舞士幌同好会	コーラスこもれび
芳彦会	十勝晴	フラ、ハーラウモアナ、ラニ
士幌高原太鼓愛好会	士幌歌友会	

２１．町民文芸誌ぬぷか発刊事業

町民及び町出身者等からの投稿を受け、第４５号を発刊した。投稿作品数は、児童生徒６２作、一般８作、合計７０作品であった。

7．保健体育費	町民一人一スポーツを目標に、スポーツ推進委員が中心となり、各種スポーツ大会・研修会等を企画実施するとともに、総合研修センター、各学校施設、屋外競技施設等を利用者が積極的に利用できるように維持管理を行った。 １．スポーツ推進委員 町のスポーツ普及振興を目的として、スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整や住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する事業の指導及び助言を行うために委嘱し、委嘱期間は令和６年４月１日から令和８年３月３１日までである。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

委員人数	会議開催回数	出席者数（延べ人数）
9	2	11

２．スポーツ賞等表彰

町のスポーツの向上発展に関し特に事績の顕著な者又は団体に、スポーツ賞等を贈って表彰し、町のスポーツの普及振興を図った。なお、表彰式については３月１５日に開催した第１８回「みんなで教育を考える集い」で行った。

（１）ジュニアスポーツ賞

佐々木　渚美　（士幌小学校４年）　佐藤　なのは　（士幌小学校４年）
飯島　健心　（士幌小学校５年）　大野　蓮之佑　（上居辺小学校５年）
藤内　琥牙　（士幌町中央中学校１年）
山根　虎之助　（士幌町中央中学校１年）
吉田　えるの　（士幌町中央中学校１年）
鈴木　凱大　（士幌町中央中学校２年）
小野寺　仁菜　（士幌町中央中学校３年）
河村　京葉　（士幌町中央中学校３年）
野口　夏帆　（士幌町中央中学校３年）

（２）ジュニアスポーツ奨励賞

大野　瞬　（上居辺小学校３年）　松山　純生　（士幌小学校３年）
大野　楓　（中士幌小学校４年）　吉田　このみ　（士幌小学校４年）
堀江　いろは　（士幌小学校５年）　松山　開晴　（士幌小学校５年）
佐藤　奈穂　（士幌小学校６年）　名波　令穏　（士幌小学校６年）
松山　雄世　（士幌町中央中学校１年）
士幌ファイターズ　士幌陸上クラブ
士幌レンジャーズ　士幌ユニバース
士幌町中央中学校サッカー部　士幌町中央中学校バレーバボール部

（３）スポーツ賞

奥秋　静子　（帯広三条高等学校３年）

３．スポーツ教室等の実施状況

技術の向上とスポーツの普及のために次の事業を開催した。

教　室　等　名		開　催　日	実施回数	参加人数(延べ人数)
幼児・小学生水泳教室	幼児	7月5.6.12.13日	4	31
	小学生	7月5.6.12.13日	4	52
冬休み初心者スケート教室		1月13日	1	8
スキー教室		12月28日	1	2
わいわいスポーツ教室		5月21.28日	2	43
		6月4.11.18.25日	4	92
		7月2.9.16日	3	78
		8月6.27日	2	36
		9月4.10.17日	3	64
		11月6.12.19.26日	4	95

４．各種行事・競技大会

スポーツの普及振興と、町民の交流を目的として次の事業を開催した。

（　）参加チーム数

大会名	種　目	開催日	参加人数	共催･協力団体
第42回町民体育祭	ソフトボール競技	7月3.4.7.8.11日	70(6)	
	パークゴルフ	7月19日	72(22)	パークゴルフ協会

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

	競技 フリーの部			
	ミニバレー競技 小学生の部	11月16日	33(6)	ミニバレー協会
	ミニバレー競技 一般の部	11月16日	40(8)	ミニバレー協会
町民スポーツの集い	町民駅伝大会	10月4日	28(7)	陸上競技協会
	タイムトライアル2025		39	〃
	走り方教室	中止		〃
	パークゴルフ大会	10月4日	48	パークゴルフ協会
第49回士幌町民スケート大会		1月24日	30	スケート協会

５．社会体育施設

（１）総合研修センターすこやか体育館利用状況

令和５年度より指定管理制度を導入し株式会社オカモトによる指定管理運営を開始した。

部屋名	利用回数	利用人数
アリーナ	1,369	28,549
研 修 室	544	3,796
武 道 館	334	3,078
計	2,247	35,423

（２）その他体育施設の利用状況

施　設　名		利用期間
総合運動公園	野球場	4月 1日～10月31日
	多目的広場	4月 1日～10月31日
	陸上競技場	4月 1日～10月31日
	パークゴルフ場	4月17日～11月17日
中士幌の森パークゴルフ場		4月17日～11月17日
農村運動公園	野球場	4月 1日～10月31日
	スケートリンク	12月28日～ 2月20日
町民プール		6月15日～ 9月10日(※1)
屋内ゲートボール場		4月 1日～ 3月31日
睦サッカー場		4月15日～10月31日

(※1)令和２年度より株式会社オカモトによる指定管理による運営

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（3）学校開放状況

区　分	回数	利用人数	区　分	回数	利用人数
士幌小学校	27	525	中士幌小学校	51	408
上居辺小学校	32	625	士幌町中央中学校	3	16
士幌高等学校	0	0			
合　　計				113	1,574

6．音更町温水プール利用助成

町民のスポーツ振興及び健康増進を図るため、音更町温水プールの利用助成を行った。

助成内訳

区　分	回数券(6枚綴) 単価（円）	助成単価（円）	販売数	助成金額（円）
一般	2,000	1,000	37	37,000
高齢者・高校生	1,100	550	81	44,550
小・中学生	550	275	131	36,025
合　　計				117,575

7．フィットネス事業

平成２８年度より町民のスポーツ振興及び健康増進のため、次の事業を実施した。

委託先：株式会社オカモト

（1）全体

実施日数	利用人数	レッスン実施回数
204	2,040	517

（2）レッスン別

レッスン名	利用人数	実施回数
コアトレーニング	311	108
ストレッチ	325	103
ボールｄｅ筋膜リリース	169	47
ＤＩＳＣＯ　ＷＯＲＬＤ	200	35
ＺＵＭＢＡ	417	49
いきいきリズム	161	47
ストレッチポール	60	21
ノルディックウォーキング	156	50
Wの刺激	37	7
Ｑ－Ｒｅｎボディメンテナンス	122	27
ハッピー☆チェア・エクササイズ	82	23

8．スポーツ関係団体助成事業

（1）士幌町スポーツ少年団　　助成金額：１，４０１，０２４円

８少年団で組織され、各種大会、町内スポーツ少年団交流会等の参加を通じて健全育成を図った。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

本部事業内容	開催日	参加人数
スポーツ少年団研修会	11月10日	300
第50回町内小学生交流ミニバレー大会	2月28日	37(8)

所 属 少 年 団 名		
士幌野球少年団	士幌サッカー少年団	士幌ユニバースバレーボール少年団
士幌スケート少年団	士幌基礎スキー少年団	士幌トランポリン少年団
中士幌スケート少年団	上居辺小学校スポーツ少年団	

（2）士幌町体育連盟　　助成金額：６７２，０００円

１４競技団体で組織され、加盟団体ごとに主催大会の開催や各種大会に参加した。また、子どもを対象とした教室の開催や大会の審判運営協力などを行っており、町民の体位向上と健全な体育の振興に大きく寄与した。

所 属 競 技 団 体 名		
陸上競技協会	軟式野球連盟	柔道連盟
剣道連盟	サッカー協会	バレーボール協会
卓球協会	アイスホッケークラブ	スキー連盟
スケート協会	ミニバレー協会	パークゴルフ協会
ゲートボール協会	トランポリンスポーツクラブ	

８．学校給食センター管理費

学校給食は、児童生徒の心身の健康な発達と、食に関する正しい理解や適切な判断力を養う上で重要な役割と食育の推進を図ることを目的としている。

安心・安全な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理マニュアルの徹底、食物アレルギーに対応するため「学校におけるアレルギー対応の指針」「学校におけるアレルギー対応マニュアル」の実践、また異物混入事故対策のため「学校給食における危機管理マニュアル」の徹底を図った。

子育て支援対策として、令和５年度から学校給食を全額町費負担とする無償化に取り組み、保護者負担を軽減した。

ふるさと給食月間を１０月から１１月と定め、士幌町肉牛振興会から無償提供を受けたしほろ牛肉や、北海道士幌高等学校の加工品など士幌産の食材を使った献立の給食を実施した。

学校給食調理業務及び洗浄業務・郡部小学校の配膳及び洗浄業務を、(有)十勝クリエティブ・サービスに、郡部小学校及び中学校への給食配送業を、北斗運輸(株)に業務委託している。

１．給食センター運営委員会

学校給食を供給する保護者及び教職員の６名で組織し、給食センターとの信頼関係を深める目的で、学校給食の事業報告・計画やアレルギー対応や衛生管理について取り組み各種情報共有した。

開催回数　１回

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

２．令和７年度の給食実績

■給食供給人数（５月１日現在）

小学生　　２５５人
中学生　　１４４人
教職員等　　８４人
給食センター　８人

■学校給食費（１人１日当たり）　（単位：円）

区　分	７年度			６年度		
	基準額	町費額	給食費	基準額	町費額	給食費
小学校児童	282	282	0	282	282	0
中学校生徒	327	327	0	327	327	0
小学校教職員等	282	0	282	282	0	282
中学校教職員等	327	0	327	327	0	327

※令和５年度より、小・中学生を無償化とした。

３．学校給食費及び賄材料費

■歳入（現年度分）

児童生徒給食費　　０円
教職員等給食費　５，１１１，６０４円
外、試食等費　　３６８，２９５円
合　計(調定額)　５，４７９，８９９円

■歳出

賄材料費　３２，６３０，９６１円
合　　計　３２，６３０，９６１円

収入済額(収入票累計)　５，４７９，８９９円（収納率１００％）

４．施設整備及び備品購入状況

区　分	内　容	事業費（円）
修　　繕	食器洗浄機ベルトコンベア交換修繕	825,000
	調理室床下蒸気配管修繕	298,540
	ごはんほぐし機パーツ溶接テフロン加工修理	269,940
	プレハブ冷凍庫警報器取替修繕	182,160